

中学校

立場を替えて感じてみよう

○目標となる資質

道徳性、規律性、思いやり・他者理解

○指導のねらい

立場によって物事の捉え方や感じ方が違うことに気付き、より良い集団としての道徳性や規律性の在り方について考えを深め、多面的に判断する力を育む

○準備するもの

ワークシート 3 枚×生徒数

○教育課程、実施時期

特別活動、自分勝手な言動が見られ始めた時など

○留意点など

結論を出すことなく、色んな意見を交わして考えさせることが目的と心得る

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 15 分	1 ワークシート A (A') を黙読後、記入し、グループ内で意見を 1 つにまとめる 2 グループ毎にワークシートの 2 の数字について挙手してもらい、グループによって大きく違うことに疑問を抱くことで、本時の学習について知る	・全員に同じワークシートを配っていると思わせておく ・疑問が出てから理由を発表させ、徐々に疑問を広げ、最後にタネ明かしをする
	立場を替えて感じてみよう	
展開 30 分	3 ワークシート A' (A) を黙読後、記入し、A (A') と結果が変わることを確認する 4 運転士さんの思いを確認した後、ワークシート B の 1 を記入し、「自分が運転士さんならどうするか？」についてグループ内で話し合い、全体に発表する	・他方のワークシートを記入させて、立場の違いで思いが全く変わることを感じさせるようにする ・道徳的なジレンマを強く感じさせるようにする ・結論を導き出すことよりも、多面的な見方が必要だと感じさせるように議論を促す ・定刻に発車することについても目を向けさせる
まとめ 5 分	5 本時をふりかえり、ワークシート B の 3 に感想を書く	・自分にとって 100%満足できない決まりでも、色んな立場の思いから成り立っていることや、相手の立場になって考えることが大切であることを伝える ・何名かに感想を発表させてもよい

参考

○ワークシート A と A' について

これは、記載された物語の内容が違う 2 種のワークシートのことを指しており、ワークシート本体に「A」「A'」の記号は記載していない。物語「バスでの出来事」は、立場の違う 2 人の視点に立ち、相反する願いを持つそれぞれの状況にジレンマを感じさせることをねらいとした教材である。それぞれの主人公に自分を重ねて感情移入させ、何とかしたいという思いにしっかりと共感させることがポイントとなる。設問の 1 は主人公の気持ちに寄り添わせるためのものであり、全体で取り上げる必要はない。

○「ワークシートを記入し、グループ内で意見を 1 つにまとめる」について

例えばクラスに 8 グループある場合、4 つのグループにワークシート A を、残り 4 つのグループにワークシート A' を配布するようにする。その際、あたかも全員に同じワークシートが配られているように振る舞うようにする。配布したら、黙読させた後、設問 1・2 を個人で書かせ、それをもとにグループ内で意見を交流させ、設問 1・2 についてグループとしての意見をまとめさせるようにする。

○「グループによって大きく違うことに疑問を抱く…」について

「1 に○をつけた班は？」というように問い、設問 2 についてグループ内でまとめた意見をグループの代表者に挙手させる。その際、グループによって意見が大きく分かれることに注目させる。次に、比較的大きな数字を答えたグループと、小さな数字を答えたグループに理由を発表させて、全くかみ合わない意見に大きな疑問を抱かせる。そしてワークシートが 2 種類配られていることのタネを明かし、「今日は、同じ場面で違う立場の人がそれぞれどう感じているのか考えてみよう」とめあてを提示するようにする。

○「ワークシートを記入し結果が変わることを確認する」について

それぞれ他方のワークシートを配布して、物語部分を黙読させて、内容や立場の違いを全体で確認した後、設問 1・2 を記入させる。時間があれば、グループ内で意見交流させてもよい。タケルやミカが願う理由（テスト・友情）に注目させるのではなく、ここでは、バスに乗っていない乗客と、既に乗っている乗客とでは、思いが変わるという状況を整理させるようにする。

○「自分が運転士さんならどうするかについてグループ内で話し合い…」について

まずは、「運転士さんはどんな気持ちでタケルを待ったのか」について話し合わせ、タケル、ミカ、運転士さんの三者の視点を持たせるようにする。そして、「じゃあ、みんなが運転士さんならどうする？」と投げかけ、ワークシート B の 1 を記入後、お互いの考えをグループ内で交流させる。議論が進んで「定刻に出発すればよい」という意見が出たら、「乗り込む直前に定刻が来ても扉を閉めて出発するの？」などと更に悩ませるように促し、決まりやルールのある在り方について議論させるようにする。そして、ルールは万人が 100%の快適を得るためのものではなく、集団がうまく機能するようにみんなが少しずつ我慢することで成り立っているものだと実感させるようにする。

【バスでの出来事】

A 高校へバスで通っているタケルは、玄関のドアを開けっ放しにしたまま、大急ぎでバス停留所に向かって家を飛び出した。そして、表通りに出る三丁目の角を曲がり、バス停留所にすでに停車しているバスの姿が目飛び込んでくるやいなや、さらに大きく両腕を振って、走るスピードを上げた。と同時に、今まさに2人のお客さんがバスに乗り込もうとしている様子が見て取れた。

「あ！ バスもう来てるやん！」

「お客さんが乗ろうとしているやん！」

「あー、もしこのバスに乗り遅れたら、遅刻してテストが受けられなくなるかも…」

今日は一年で最も重要なテストの日。この日の結果で志望校を決定することになっている。タケルのこのテストにかける意気込みは半端なものではなく、今日のために毎日毎日必死の思いで勉強してきた。ところが、昨夜遅くまでテスト勉強をしていたことが裏目に出て、テスト当日の朝だというのに、不覚にも寝坊してしまったのだ。タケルは、あまりの慌てように髪もボサボサで寝癖だらけだった。

全速力で走りながら左腕の時計に目をやると、すでにバスの出発予定時刻を過ぎようとしている。今にも発車しそうになっているバスの後ろ姿を見ながら、激しい吐息とともに起きられなかった自分を悔やんだ。

「お願い…神様…」

タケルは祈った。祈りながら力一杯走った。すると、その祈りが通じたのか、バスはどうやらタケルを待ってくれているようだった。

“バタバタバタッ！”

勢いよくバスに飛び乗ったタケルは、激しく息を切らせつつ、扉が閉まるブザー音と振動を上下に揺れる背中で感じていた。

「ふう…よかったあ…間に合ったあ…」

バスは発車の指示器を出してゆっくりと走り始めた。

1 「お願い…神様…」と思っている主人公は、バスに何を願っているのでしょうか。

2 あなたがこの物語の主人公なら、バスをすぐに発車させなかった運転士さんに対してどう感じますか。次のそれぞれのうち、当てはまる番号を1つずつ選んで○をつけましょう。

ありがたい	←	6・5・4・3・2・1	→	ひどい
温かい	←	6・5・4・3・2・1	→	冷たい
やさしい	←	6・5・4・3・2・1	→	厳しい
正しい	←	6・5・4・3・2・1	→	間違っている

年 組 番 名前：

【バスでの出来事】

「お願い！ 間に合って！」

女子大学生のミカは、空港へ向かうバスの中で思わず手を合わせた。

今日、親友のケイが留学先のアメリカに旅立つ。ミカはケイと離ればなれになるのは辛かったが、親友が夢に一步近づくことを心から喜んでいて。しかし、今朝、ケイと電話で話している時に、些細なことから喧嘩になってしまい、つい「絶対に見送りになんて行かないから！」と言ってしまった。電話を切ったあとすぐに後悔の気持ちが押し寄せてきた。大好きなケイと最悪の別れ方をしてしまった自分を責めて泣きじゃくった。しかし、涙と一緒にあふれ出てくる思い出を振り返るうちに、「やっぱり私がケイを笑顔で送ってあげなきゃ…」という思いがこみ上げてきた。気がつけば、このバスに飛び乗っていた。

いつもより道路を走る車の数が多く、バスは思うように進まない。信号に引っかかる回数もなんだか多いような気がする。やや遅れ気味のバスにミカは焦りを隠せなかった。

“プシュー”

バスは5つ目の停留所に止まった。待っていた2人の乗客が乗ってきた。しかしバスの扉は開いたままで全く動き出そうとしない。

「え？ 何で？ 早く出発してよ。ケイが行っちゃうじゃない！」

ミカの焦りは一気に高まった。10秒ほどの時間がミカには5分にも10分にも感じられた。

「お願い…神様…」

やがて、1人の男子高校生が息を切らせてバスに飛び乗ってきた。

「ふう…よかったあ…間に合ったあ…」

どうやら寝坊してきた様子で、頭は寝癖だらけだった。バスはこの少年が乗り込むのを待っていたようだ。

「もう！ 出発時刻過ぎてるのに、なんでこんな寝坊少年を待つわけ！？」

普段は温厚なミカに思わずこみ上げてきた怒りは、ほどなく悲しみ変わった。

「ケイに…ケイに会えなかったら…どうしてくれるのよ…」

ミカの目には大粒の涙が溢れてきた。

バスは発車の指示器を出してゆっくりと走り始めた。

1 「お願い…神様…」と思っている主人公は、バスに何を願っているのでしょうか。

2 あなたがこの物語の主人公なら、バスをすぐに発車させなかった運転士さんに対してどう感じますか。次のそれぞれのうち、当てはまる番号を1つずつ選んで○をつけましょう。

ありがたい	←	6・5・4・3・2・1	→	ひどい
温かい	←	6・5・4・3・2・1	→	冷たい
やさしい	←	6・5・4・3・2・1	→	厳しい
正しい	←	6・5・4・3・2・1	→	間違っている

年 組 番 名前：

「立場を替えて感じてみよう」ワークシート（B）

- 1 あなたがこのバスの運転士さんだったら、この時どのようにしたと思いますか。

- 2 1で書いた意見をもとに、グループで話し合ってみよう

（メモ）

- 3 この授業を受けて、思ったことや考えたことを書きましょう

年 組 番 名前：